



ひと時の夢

(財) 地方公務員等ライフプラン協会 坂元 初男



“人”は行動することによって、考えが変わる”とよく言われます。

私の場合は、実に単純です。

かつて私は、“宝くじは当たらないもの、だから買わない”という主義でしたが、たまたま異動等により勤務した団体の業務の一部が関係し、お世話になることもあることから、当たらないのを覚悟で義理で買い始めたいきさつがあります。

しかし、人間は勝手なもので、購入したとたん「当たるぞ」という気がするから不思議です。…以来、20数年になりますが、結局は、毎回むなしい想いで、過ごしてきています…。でも私は、今では大の宝くじファンです。

いつか当たることを夢見て、これまでかなりの枚数を買ってきていますが（しかも本音は、最高額を…と、もくろんでいるのですが…）なかなか当たりません。

しかし、2000円～3000円程度は時々当たったことがあり、そんな時はただちにそれを元手に購入するようにしています。特に、年末ジャンボをはじめとする当せん金が大型のくじは、毎回70枚から100枚は購入しています（このほか、ブロックくじといわれるもの等も、販売時期に目についたら少しずつではありますが購入してきています）。

ある時（10年程前）JR新橋駅前（東京）で100枚購入した年末ジャンボ宝くじの中から、5万円が当たったことがあります。たいした金額ではないと言う人もいるでしょうが、私にとっては、「宝くじ」で当たったのです。

嬉しさのあまり（格好も付けて）家族に幸せのおすそ分けをすることとし、連れ合いと当時は大学生だった息子2人に各1万円をあげた記憶がよみがえります。つらつら考えるに、この結果、私は投資金額を下回った額しか残らなくなるため、連れ合いにだけ「返してほしい！」と言ったことがありましたが、澄まし顔で「貰ったものは私のもの、くださいと言うならあげてもいいですよ」と言われ、釈然としないままあきらめたことがありました。

「まあ現金な家族が喜んでくれた分、私が幸せを分け与えたのだから良しとすべき」と、自分に言い聞かせあきらめたことが思いだされます。

ちなみに、その残りの当せん金は、運がいいとゲンを担ぎ、これまで通りただちに直近の宝くじを購入したのは言うまでもありませんが、取り返そうとした根性の悪さに罰が当たったか、はたまたケチがついたのか、その後の10年間、1000円超の額に当たった試しがありません。今年も（昨年末の）、ジャンボ宝くじはまたまたハズレ！（運を天に任せているので仕方がないのですが…）

しかし、年が改まるたびに新たな気持ちになり、最近はかなり遠くの方ではありますが、当たりくじがかすかに見えて、近づきつつあるような気がしています。

宝くじは、地域振興に役立っており、私もホンのちょっぴりではありますが貢献しているという思いと、少ない金額でも大きな夢を見させてもらっているという思いがあります。

それがたとえ「ひと時の夢」であっても、その楽しみのための夢を今後も追いかけていくつもりです。

皆さんも、何らかの形で今までと違う行動をおこしてみませんか。考えかたが変わりますよ。

